



果樹林産センター
小杉 真啓

園地、樹ごとの
着果管理



4月に入ると芽や根が活動を始めます。
園地の観察を行い、計画的な管理をしましょう。

開花前の管理

近年、樹ごとに花のバラつきが目立ちます。表年と裏年の樹を判断し、花が多いと思われる樹では、隔年結果是正や高品質果の栽培を目的に、摘蕾、摘花を早い時期から行いましょう。

葉面散布

充実した子房を作ることで、品質の良い果実生産につながります。花の充実のために、花芽が見える頃から開花まで尿素500倍を5～7日置きに3回程度葉面散布しましょう。

病虫害防除

そうか病は、新芽が展葉する時期から感染が始まります。発芽時期は地区や樹勢などで違うため、園地をよく観察し、新梢が1cm程度に伸長する頃を目安に防除しましょう。また、発病している枝葉は剪除し、園外に持ち出してください。近年、カイガラムシ類の発生がみられます。マシン油乳剤とアブロードフロアブルを混用すると防除効果が高まります。冬にマシン油を散布しない園地では、気温の上昇とともにミカンハダニが発生するので防除しましょう。

4月中下旬

カイガラムシ類 マシン油乳剤 (97%) 100

新梢1cm伸長時

カイガラムシ類 アブロードフロアブル
1000倍 (14日-3回)

そうか病 デランフロアブル 1000倍 (30日-3回)、かぶれが心配な方は、マネージDF 4000倍 (30日-3回)
または、フロンサイドSC 2500倍 (30日-1回)

苗木の定植

植え付けた苗木の生育が今後の経営に影響します。適切な植え付けと苗木の管理を行いましょう。

- ①苗木の植え穴に1樹あたり堆肥10kgと溶燐1kg、苦土石灰2kgを施し、土とよく混ぜます。
- ②直根の長い部分と根の傷んだ所を切り、巻き根を取り除きます。
- ③1年生は接木部から30cm程で切り返し、輪状芽がある場合は、輪状芽の下で切ってください。2年生は複数の夏芽の中から充実した枝を1～2本に整理し、先端は枝の充実した部分で切り返します。
- ④深植えにせず、接木部が地表面から見える程度で植え付け、充分かん水します。乾燥防止のためワラ等で被覆し、支柱で固定しましょう。